

卸系多収米

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ

令和6年6月14日

KYOU-RYU. ESPRESSO

J A 福井県

つきあかり速報 No.2

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

紫陽花が鮮やかに花開く季節となりましたが、県内は25℃を超える夏日が続いています。今年は紫陽花の開花は早いです。梅雨入りは各地で遅れています。太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、偏西風が平年より南へ蛇行している影響で梅雨前線の北上が遅れているためです。15日以降は太平洋高気圧が強まり梅雨前線は本州へ北上するため梅雨入りの可能性があります。さて、つきあかりの生育状況は、先週から今週にかけての生育が緩慢で平年より茎数は少なく、葉色も淡い状況です。引き続き浅水管理を行い茎数増加を促してください。

1. J A 生育調査状況 (6月12日現在)

栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉令	葉色
移植	5月4日	39.5	175.5	-	4.1

好天に恵まれたものの、生育に関しては緩慢で、草丈、茎数、葉色の全てが平年値を若干下回っています。引き続き、浅水管理を行い茎数増加を促しましょう。

■ 生育は、草丈は平年よりやや少なく、茎数も若干少ない状況です。葉色も淡く、平年より遅延気味です。

【平年比】

- 草丈 : やや短い
- 茎数 : やや少ない
- 葉色 : やや淡い

2. 茎数の推移と今後の管理

移植 5月4日～



3. つきあかり栽培管理のポイント!

中干し・溝切り

溝切りで多収穫を目指す!!
溝切りは、落水3～7日後、田面がやや固まった状態で実施。溝切り間隔は5m。

中干しや溝切り時にどの雑草がどの場所にどれだけ発生しているのか確認してください。



取りこぼし雑草管理

後発・取りこぼし雑草を水田内に繁茂させてしまうことで、登熟期に向けて必要な肥料成分が奪われ減収につながりますので、中期・後期の除草剤散布を実施しましょう。



ノビエ: 田植え後から主に発生する一年生雑草です。ノビエが繁茂すると米の品質が低下するだけでなく、収量も2～3割低下します。

- イネ科(ヒエ): クンチャー粒剤(湛水散布)
- 広葉雑草: バサグラン粒剤(落水散布)
- ヒエ+広葉雑草: ヒエクリーンバサグラン粒剤(浅く湛水して散布)